

令和4年度 津幡町立津幡中学校 学校評価 <中間評価>

1回答…より肯定的回答

1+2回答…肯定的回答

重点事項	内容	評価の観点 【 】生徒、保護者、教職員アンケート	達成度判断基準 (1回答・1+2回答)	判定			
				1	%	1+2	%
1 学力向上	(1)授業力向上	【生】授業がわかりやすい。 【保】わが子は授業がわかりやすいといっている。 【教】授業中に、生徒を褒めたりアドバイスをしたりしている。	A 40%・85%以上 B 35%・80%以上 C 30%・70%以上 D 30%・70%未満	C D A	34 12 57	A D A	89 65 96
	(2)ICT機器等の活用 ★町共通	【教】ICT(大型TVやタブレット)を活用し、学びを深める指導を行っている。	A 50%・80%以上 B 40%・70%以上 C 30%・60%以上 D 30%・60%未満	B	45	A	86
	(3)家庭学習の充実	【生】自分で計画を立てて勉強している。	A 60%・90%以上 B 50%・80%以上 C 40%・70%以上 D 40%・70%未満	D	32	D	69
<評価>	・個別指導の充実により、生徒が授業で「わかった。できた。」を実感できるよう共通実践を行っている。継続的な共通実践により、生徒の学力向上につなげたい。						
2 生徒指導の充実	(1)あいさつの定着	【生】家庭や地域で自分からあいさつしている。 【教】家庭や学校でしっかりあいさつすることを指導している。	A 80%・95%以上 B 70%・90%以上 C 60%・85%以上 D 60%・85%未満	C C	59 59	A A	96 97
	(2)無言清掃の徹底	【生】清掃には無言で真面目に取り組んでいる。	A 50%・90%以上 B 40%・80%以上 C 30%・70%以上 D 30%・70%未満	B	45	B	88
	(3)人間関係づくり	【生】学校へ行くのが楽しい 【生】学級は居心地がよい 【教】生徒間や教師との人間関係が温かなものになるよう、学年・学級の充実に努めている。	A 60%・95%以上 B 50%・90%以上 C 40%・85%以上 D 40%・85%未満	B C A	51 47 66	C B A	89 90 100
	(4)いじめの根絶	【生】いじめはどんな理由があってもいけないことだと思ふ。	A 90%・95%以上 B 80%・90%以上 C 70%・85%以上 D 70%・85%未満	B	82	A	95
<評価>	・昨年度から「生徒の挨拶がよくなった」と、保護者や地域から肯定的な評価をいただく機会が多くなってきた。今後更に「地域での挨拶」がよくなるよう、評価項目の一部を変えた。挨拶の大切さを指導し、より一層の充実をはかりたい。 ・いじめに関する繰り返しの指導をしているが、「いじめはいけない」と言い切る生徒の割合が8割強である。100%を目指して繰り返し指導を行っていく。						
3 信頼される学校づくり	(1)たより、HPの充実	【保】学校は子どもや学校の情報提供を適切に行っている。 【保】学校からの情報(たより、HPなど)をよく見ている。	A 70%・90%以上 B 60%・80%以上 C 50%・70%以上 D 50%・70%未満	C D	33 27	B B	86 81
	(2)小中連携した英語教育 ★町共通	4技能を3年間で系統的に育成できているかの指標の一つとして、3年生時の英検3級以上の取得者数を追跡調査していく。	A 3級以上 35%以上 B 3級以上 30%以上 C 3級以上 25%以上 D 3級以上 25%未満				
<評価>	・保護者からホームページが充実をしているとのコメントをいただいているが、アンケートの数字は昨年度とあまり変化はない。今後も継続的に、学校の教育活動について保護者、地域への情報発信に努めたい。						
4 教員の 人材育成	(1)若プロ	【教】若プロ研修の内容が充実している。(ミニOJT研修、メンターとの懇談等)	A 70%・90%以上 B 60%・80%以上 C 50%・70%以上 D 50%・70%未満	D	38	A	95
<評価>	・若手とメンターとの面談を定期的に行い、個別課題の解決に重点を置いている。今年度は若手に講師役を経験させている。互いに学び合う職員集団を、まず若手からつくっていききたい。						
5 多忙化改善に向けた取組の推進	(1)時間外勤務の縮減 ★町共通	【教】時間外勤務時間が80時間を超える教職員の割合 ※学期ごとの割合で評価	A 1学期35%以下 2学期25%以下 B 1学期40%以下 2学期30%以下 C 1学期45%以下 2学期35%以下		6月 … 45% 7月 … 29%		
<評価>	・今年度は昨年度の同時期と比べると、特に6月の増加が顕著である。加賀地区県体予選に向けた部活動等により若手教員を中心に時間外勤務が増加している。過去数年間で業務を見直しているが、業務削減には限界を感じている。年間の業務を見て、時期の集中を防ぎ、多忙感を軽減する取組を行いたい。						